

## 第4章 結果のまとめ

---

## 1. 子どもの年代別分析

ここでは、小学生・中学生調査と、高校生年代調査を合算して集計し、子どもの年代別に結果を確認する。

(1) あなたは、ふだん、どのように勉強をしていますか。(いくつでも)

全体では、「自分で勉強する」が73.1%と最も高く、「塾で勉強する」が31.4%、「家の人に教えてもらう」が28.9%と続いている。

年代別では、年代が下がるほど「家の人に教えてもらう」の割合が高くなる傾向にある。

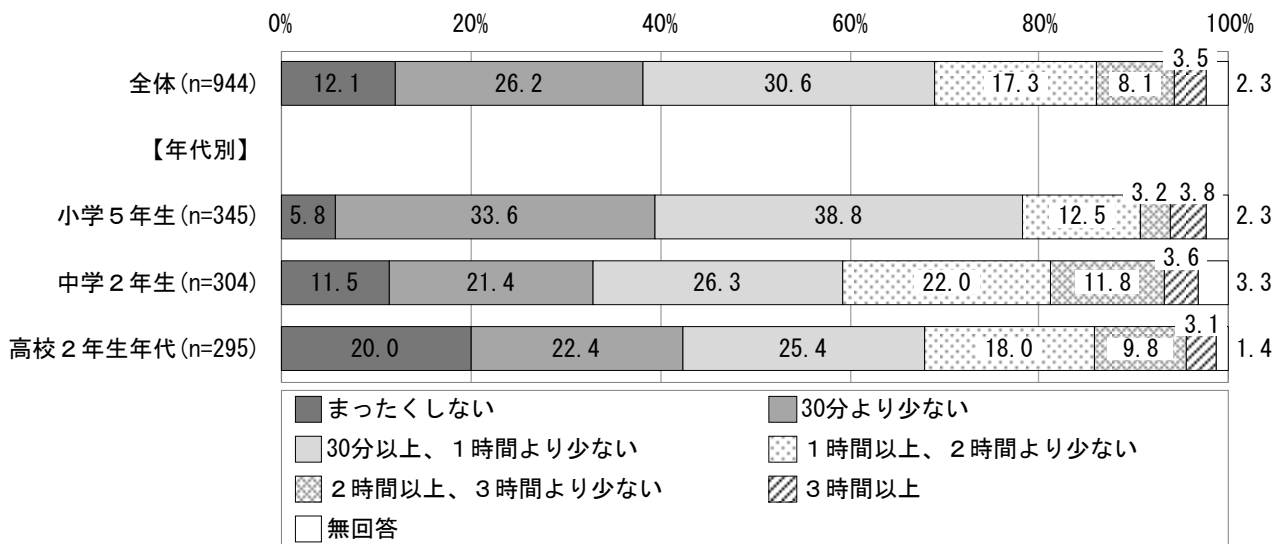
(%)	自分で勉強する	塾で勉強する	家の人に教えてもらう	友だちと勉強する	学校の補習を受ける	家庭教師に教えてもらう	地域の人などが行う無料の勉強会に参加する	その他	勉強はしない	無回答
全体 (n=944)	73.1	31.4	28.9	22.8	4.8	1.1	0.8	4.7	7.2	2.9
【年代別】										
小学5年生 (n=345)	70.4	27.2	47.5	9.6	2.0	0.6	0.9	7.2	6.1	2.6
中学2年生 (n=304)	67.8	43.4	26.3	23.7	2.6	2.3	0.3	3.0	6.6	3.9
高校2年生年代 (n=295)	81.7	23.7	9.8	37.3	10.2	0.3	1.4	3.4	9.2	2.0

(2) あなたは、ふだん、1日あたりどれくらいの時間勉強をしますか。(それぞれ1つ)

①月～金曜日の1日あたりの勉強時間

全体では、「30分以上、1時間より少ない」が30.6%と最も高く、「30分より少ない」が26.2%、「1時間以上、2時間より少ない」が17.3%と続いている。

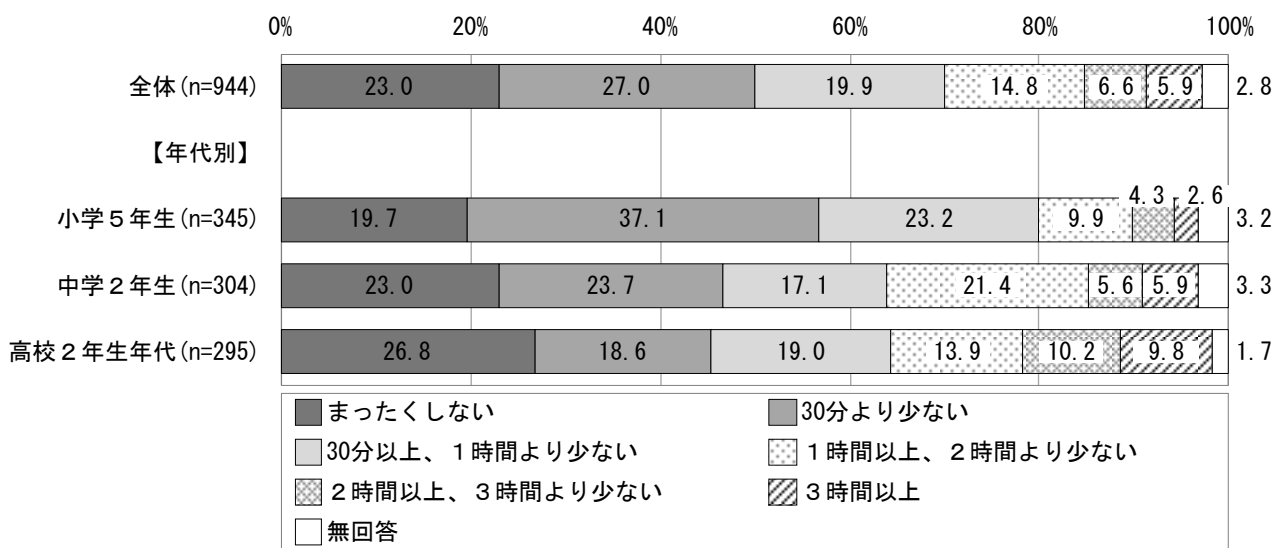
年代別では、年代が上がるほど「まったくしない」の割合が高くなる傾向にある。



②土・日曜日・祝日の1日あたりの勉強時間

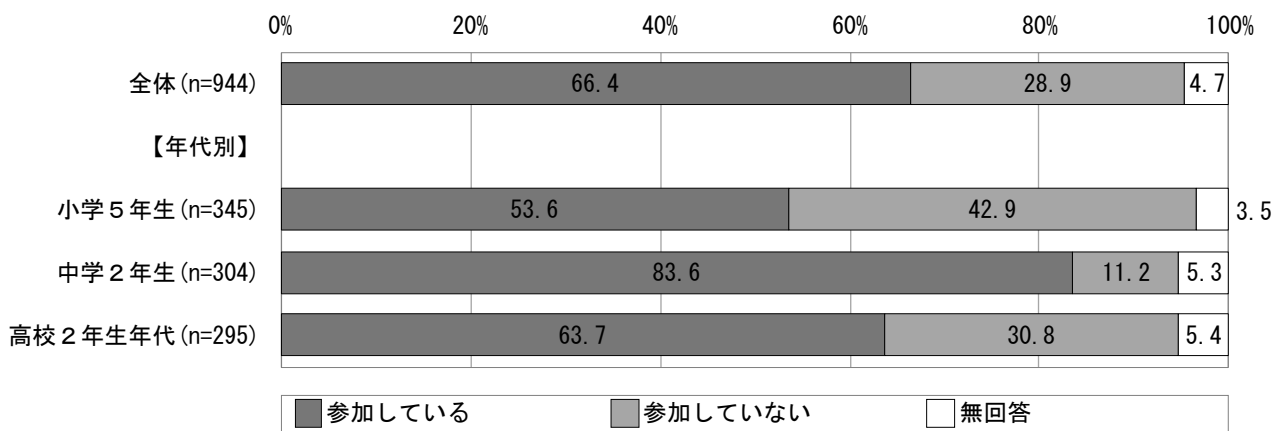
全体では、「30分より少ない」が27.0%と最も高く、「まったくしない」が23.0%、「30分以上、1時間より少ない」が19.9%と続いている。

年代別では、年代が上がるほど「まったくしない」の割合が高くなる傾向にある。



(3) あなたは、地域のスポーツクラブや文化クラブ、学校の部活動に参加していますか。

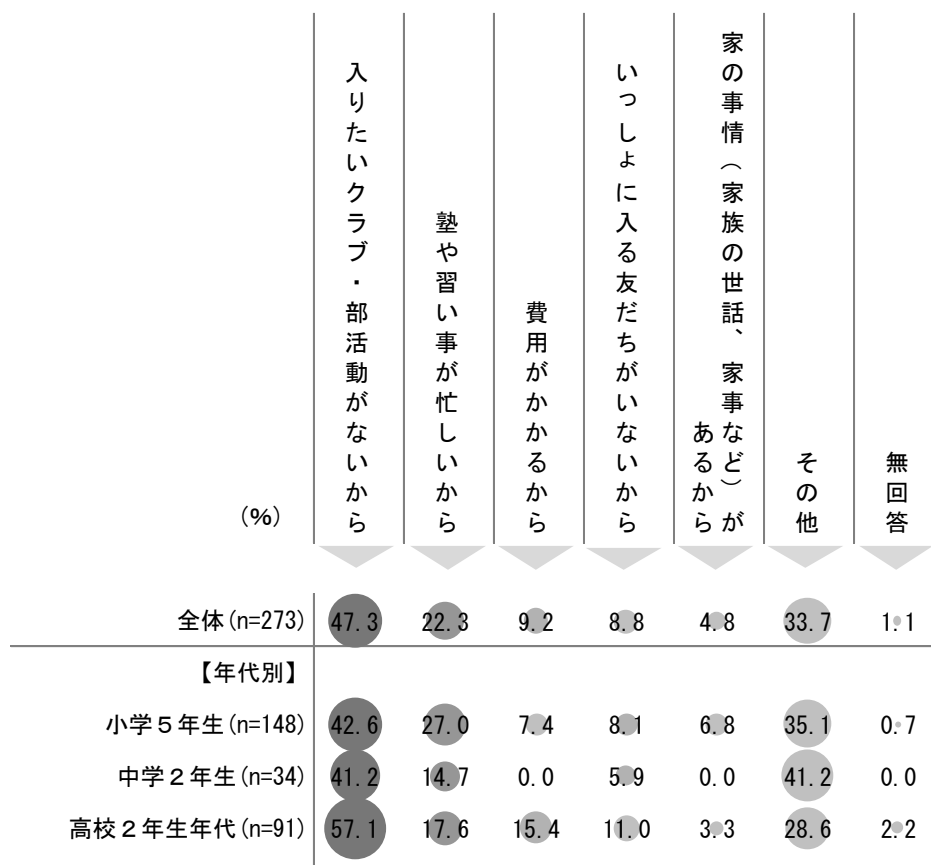
全体では、「参加している」が66.4%、「参加していない」が28.9%となっている。



(4) 参加していない理由は何ですか。(いくつでも)

※ (3) で「参加していない」と回答した方に質問

全体では、「入りたいクラブ・部活動がないから」が47.3%と最も高く、「塾や習い事が忙しいから」が22.3%、「費用がかかるから」が9.2%と続いている。

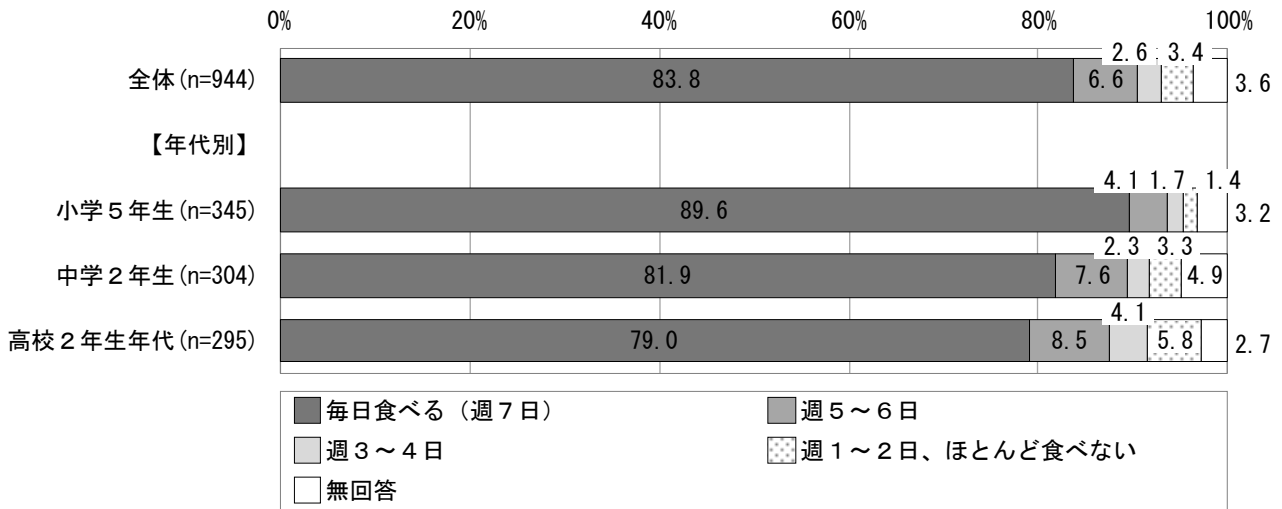


(5) あなたは週にどのくらい、食事をしていますか。(それぞれ1つ)

①朝食

全体では、「毎日食べる（週7日）」が83.8%と最も高く、「週5～6日」が6.6%、「週1～2日、ほとんど食べない」が3.4%と続いている。

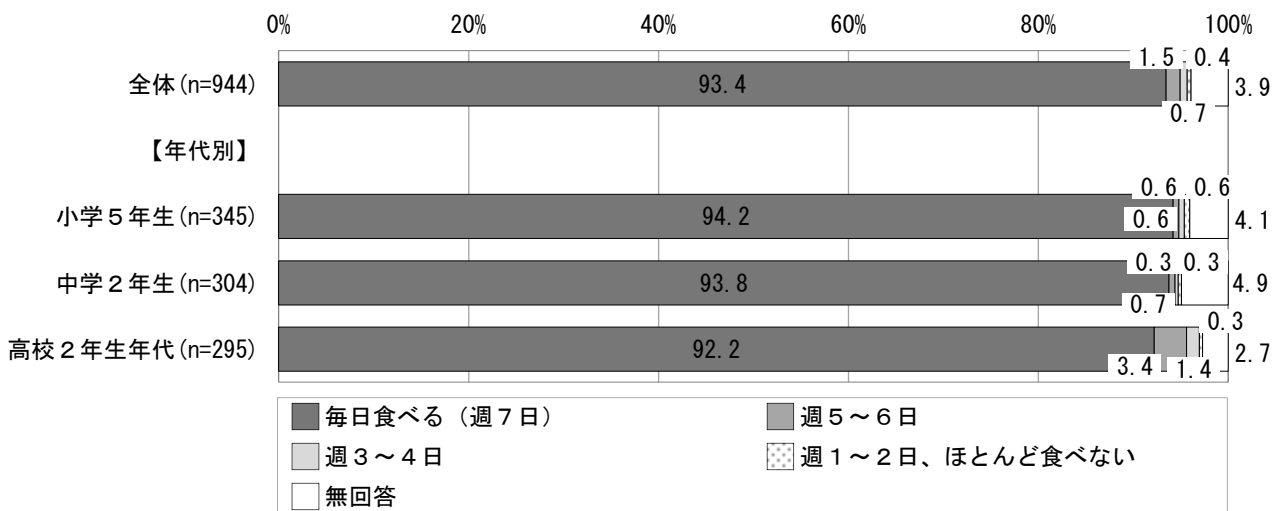
年代別では、年代が下がるほど「毎日食べる（週7日）」の割合が高くなる傾向にある。



②夕食

全体では、「毎日食べる（週7日）」が93.4%と最も高く、「週5～6日」が1.5%、「週3～4日」が0.7%と続いている。

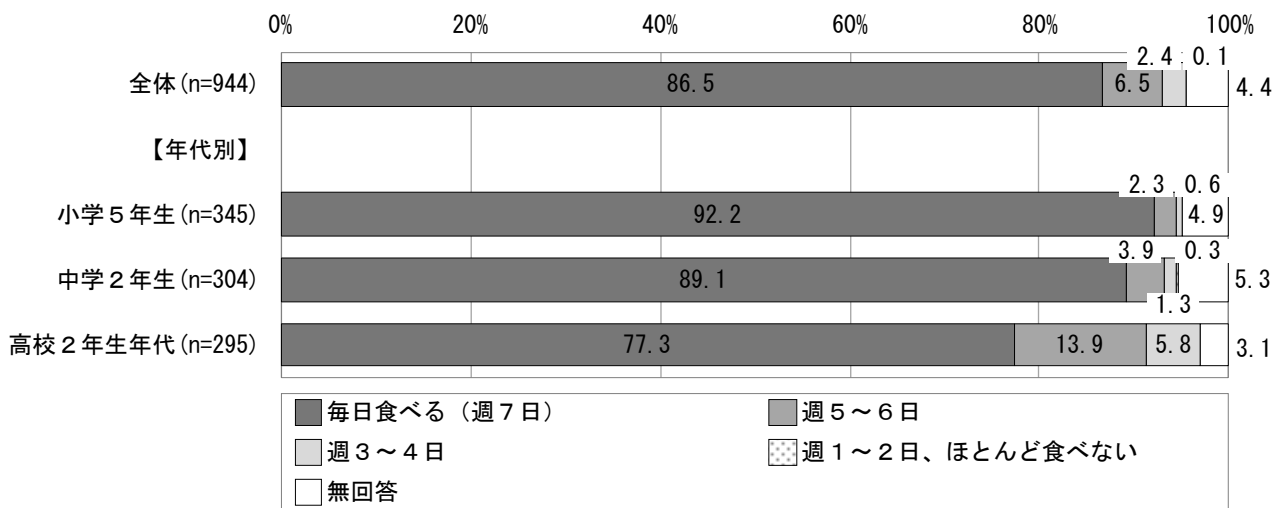
年代別では、年代が下がるほど「毎日食べる（週7日）」の割合が高くなる傾向にある。



### ③夏休みや冬休みなどがある方は、その期間の昼食

全体では、「毎日食べる（週7日）」が86.5%と最も高く、「週5～6日」が6.5%、「週3～4日」が2.4%と続いている。

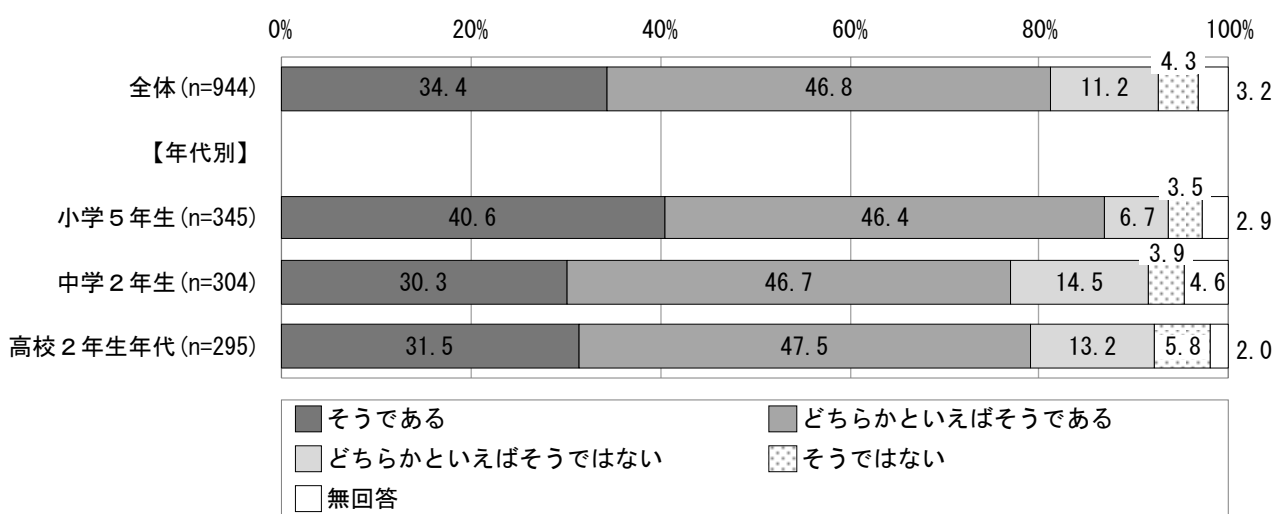
年代別では、年代が下がるほど「毎日食べる（週7日）」の割合が高くなる傾向にある。



### (6) あなたは、ふだん（月曜日～金曜日）、ほぼ同じ時間に寝ていますか。

全体では、「どちらかといえばそうである」が46.8%と最も高く、「そうである」が34.4%、「どちらかといえばそうではない」が11.2%と続いている。「そうである」と「どちらかといえばそうである」を合わせた『同じ時間に寝ている』は81.2%となっている。

年代別では、小学5年生で『同じ時間に寝ている』が87.0%と高くなっている。

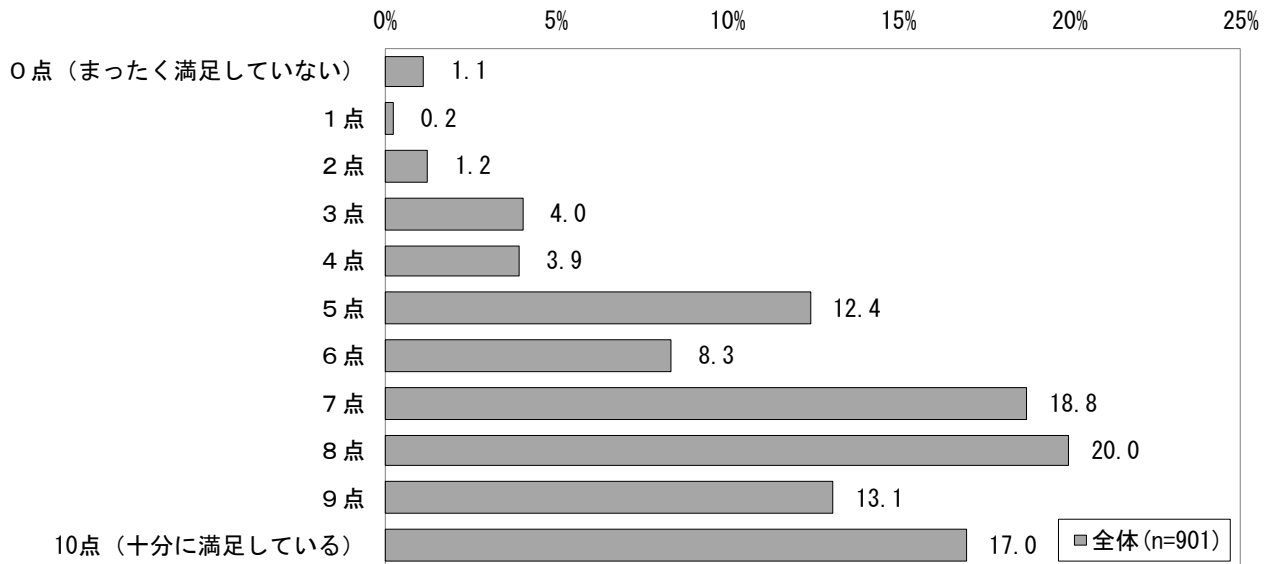


(7) 全体として、あなたは最近の生活に、どのくらい満足していますか。

「0」(まったく満足していない) から「10」(十分に満足している) の数字で教えてください。

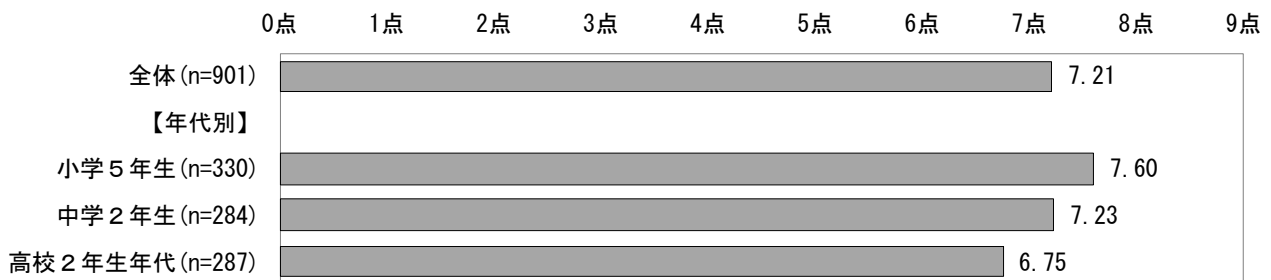
※本設問は、無回答を除外して集計している

全体では、「8点」が20.0%と最も高く、「7点」が18.8%、「10点(十分に満足している)」が17.0%と続いている。



以下は、0～10点の平均点を示している。

年代別では、年代が下がるほど平均点が高くなる傾向にある。

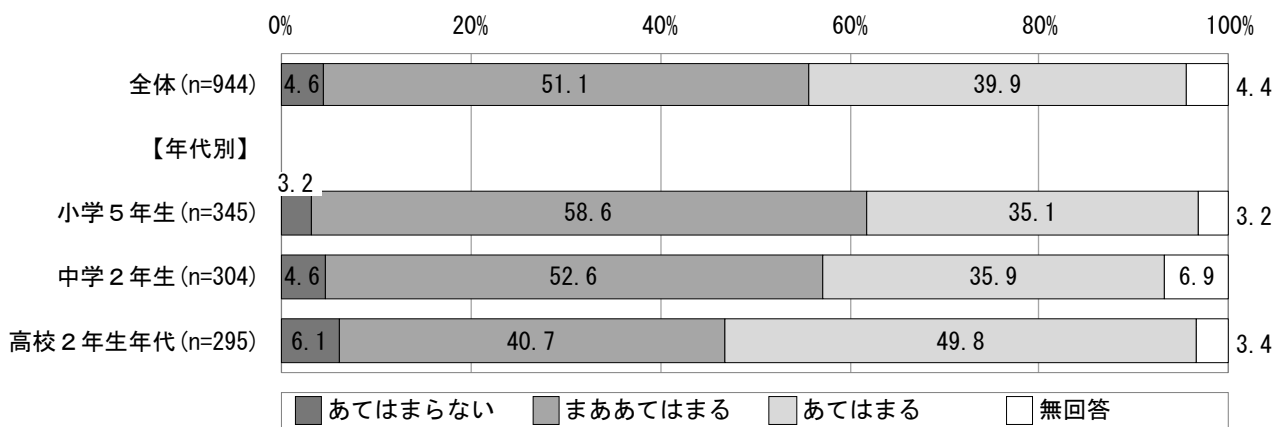


(8) 以下のそれぞれの質問について、「あてはまらない」「まああてはまる」「あてはまる」のどれかから回答してください。(それぞれ1つ)

①私は、他の人に対して親切にしようとしている。私は、他の人の気持ちをよく考える。

全体では、「まああてはまる」が 51.1%と最も高く、「あてはまる」が 39.9%、「あてはまらない」が 4.6%と続いている。

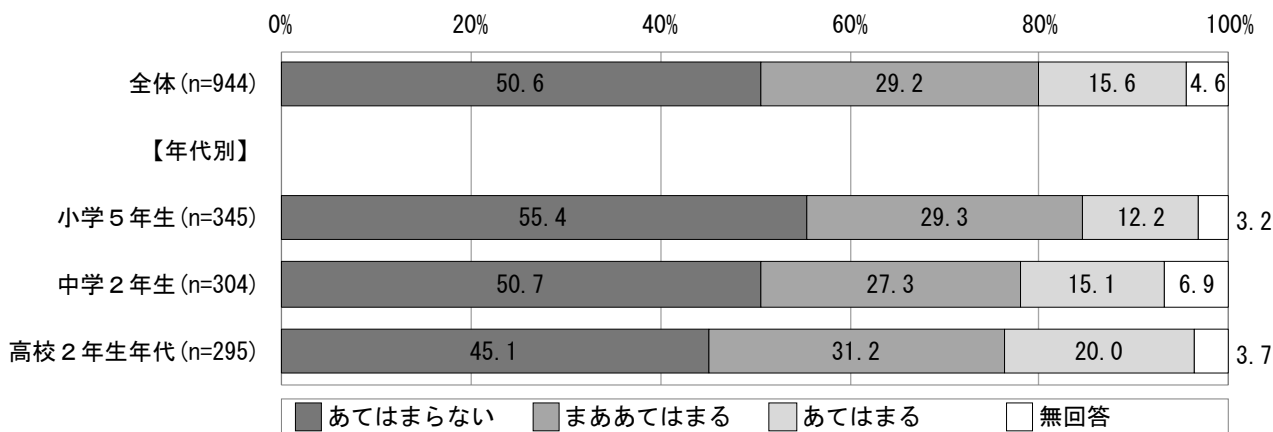
年代別では、年代が下がるほど「まああてはまる」の割合が高くなる傾向にある。



②私は、よく頭やお腹がいたくなったり、気持ちが悪くなったりする。

全体では、「あてはまらない」が 50.6%と最も高く、「まああてはまる」が 29.2%、「あてはまる」が 15.6%と続いている。

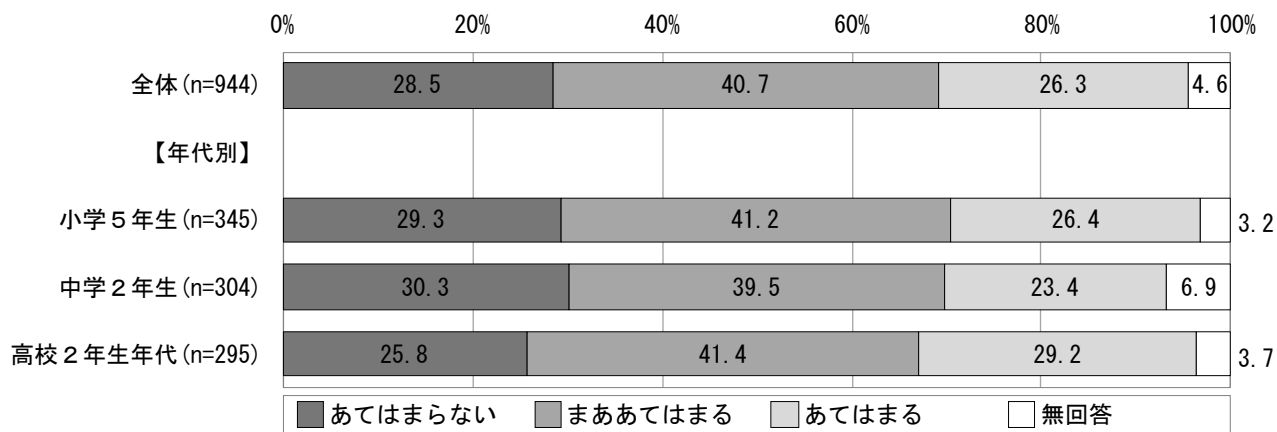
年代別では、年代が下がるほど「あてはまらない」の割合が高くなる傾向にある。





③私は、他の人たちと、よく分け合う（食べ物・ゲーム・ペンなど）。

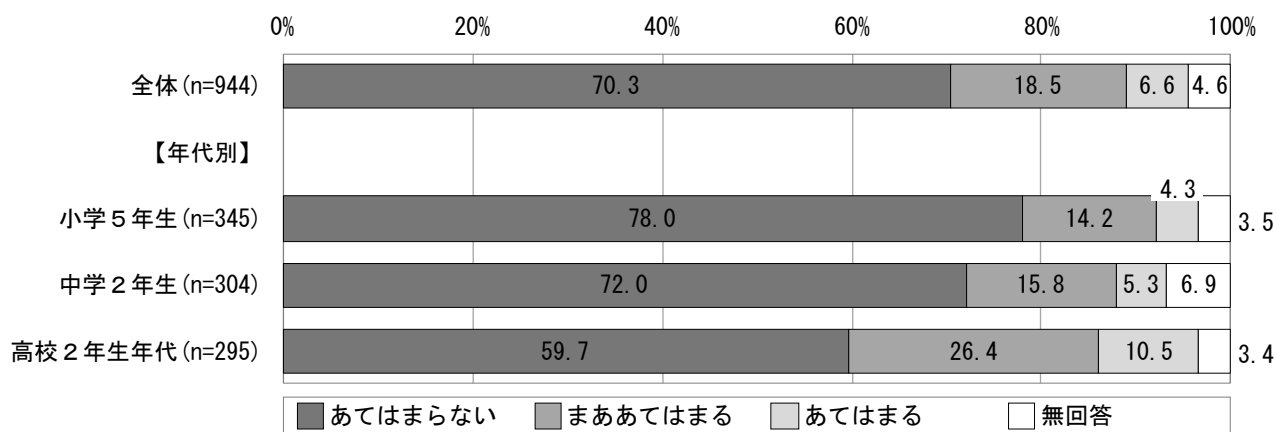
全体では、「まああてはまる」が 40.7%と最も高く、「あてはまらない」が 28.5%、「あてはまる」が 26.3%と続いている。



④私は、たいてい一人でいる。だいたいいつも一人で遊ぶか、人と付き合うことを避ける。

全体では、「あてはまらない」が 70.3%と最も高く、「まああてはまる」が 18.5%、「あてはまる」が 6.6%と続いている。

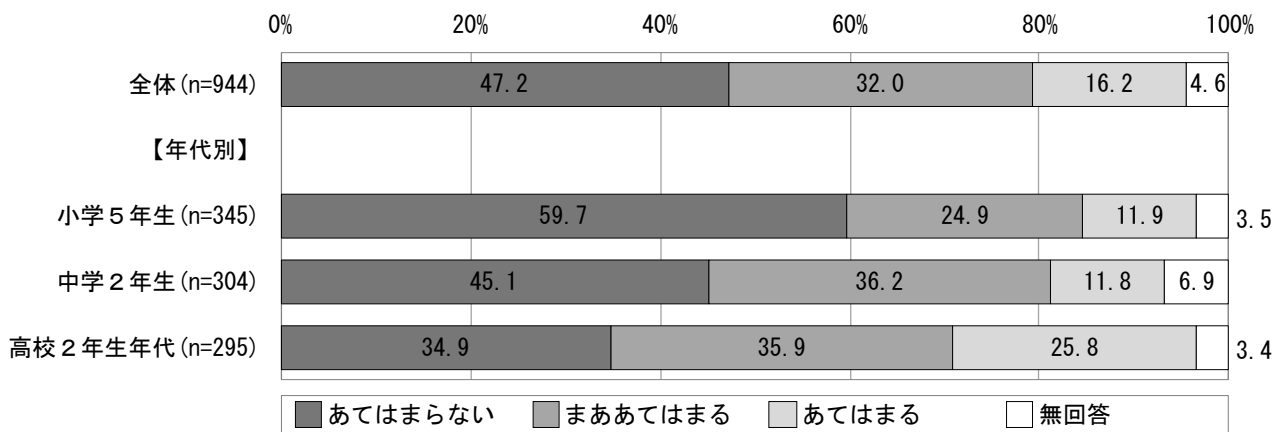
年代別では、年代が下がるほど「あてはまらない」の割合が高くなる傾向にある。



**⑤私は、心配ごとが多く、いつも不安だ。**

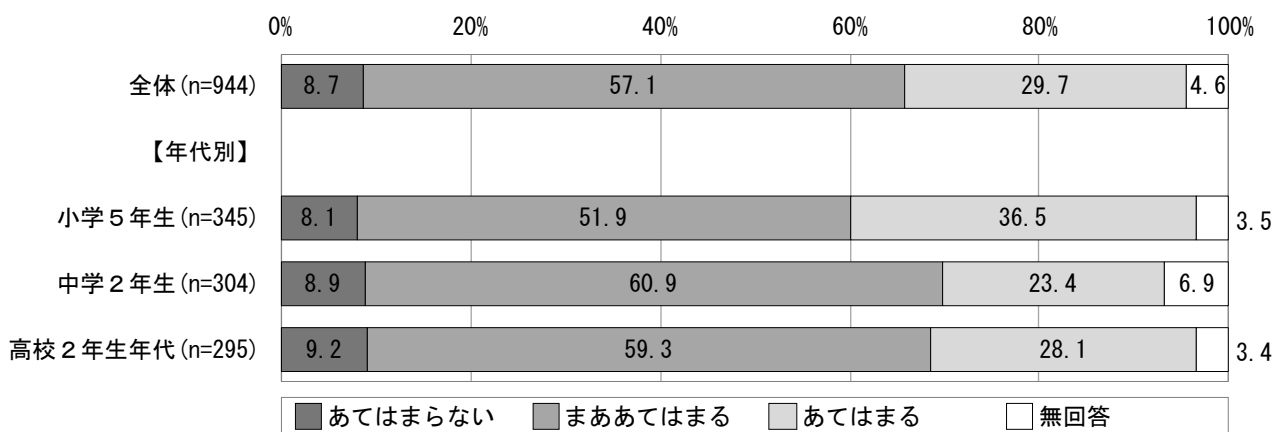
全体では、「あてはまらない」が 47.2%と最も高く、「まああてはまる」が 32.0%、「あてはまる」が 16.2%と続いている。

年代別では、年代が下がるほど「あてはまらない」の割合が高くなる傾向にある。



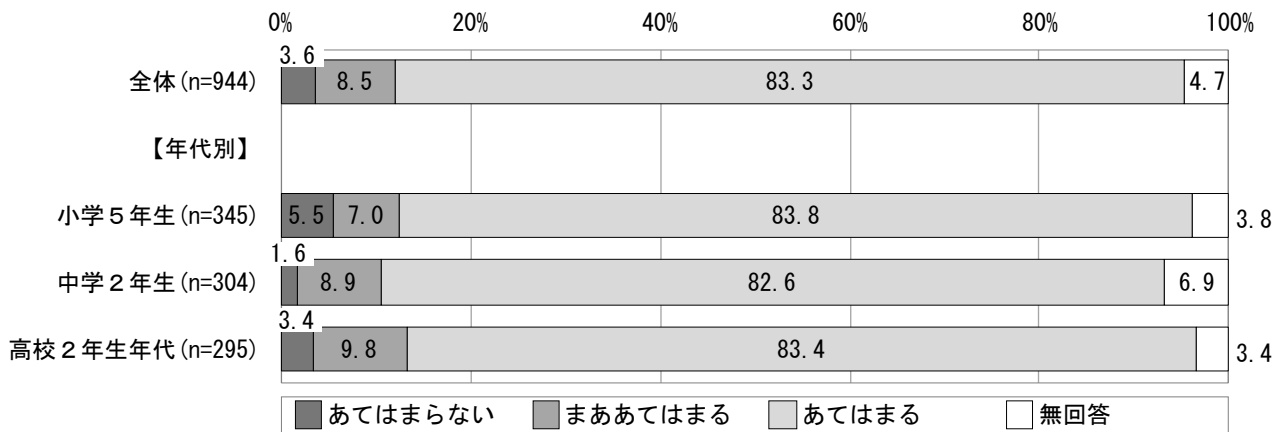
**⑥私は、誰かが心を痛めていたり、落ち込んでいたり、嫌な思いをしているときなど、すすんで助ける。**

全体では、「まああてはまる」が 57.1%と最も高く、「あてはまる」が 29.7%、「あてはまらない」が 8.7%と続いている。



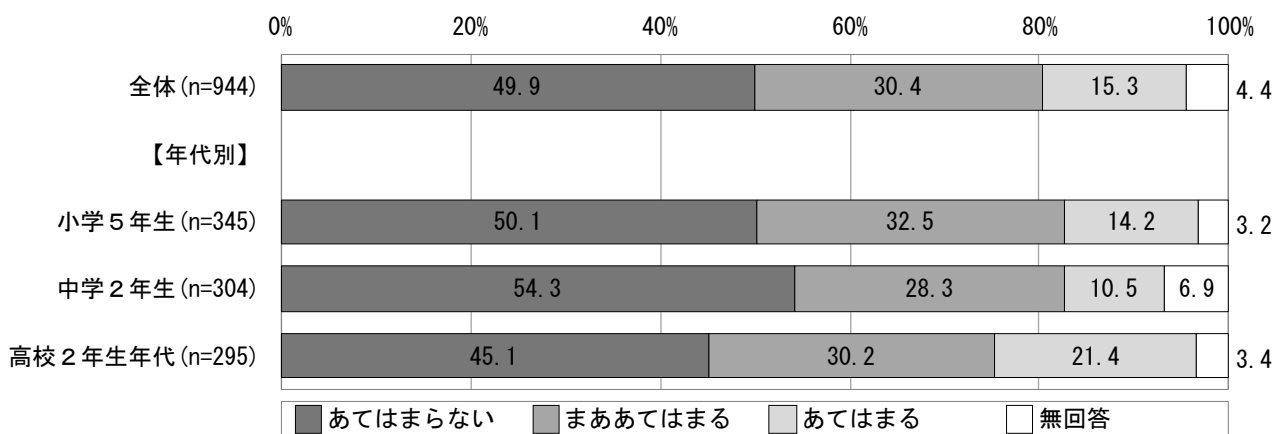
⑦私は、仲の良い友だちが少なくとも一人はいる。

全体では、「あてはまる」が83.3%と最も高く、「まああてはまる」が8.5%、「あてはまらない」が3.6%と続いている。



⑧私は、落ち込んでしずんでいたり、涙ぐんだりすることがよくある。

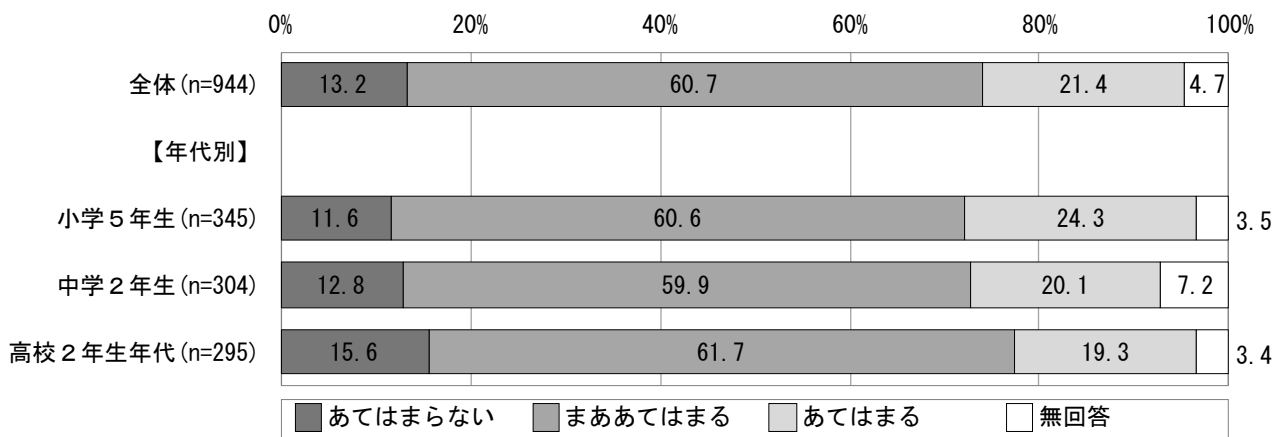
全体では、「あてはまらない」が49.9%と最も高く、「まああてはまる」が30.4%、「あてはまる」が15.3%と続いている。



⑨私は、同じくらいの年齢の人からは、だいたいは好かれている。

全体では、「まああてはまる」が 60.7%と最も高く、「あてはまる」が 21.4%、「あてはまらない」が 13.2%と続いている。

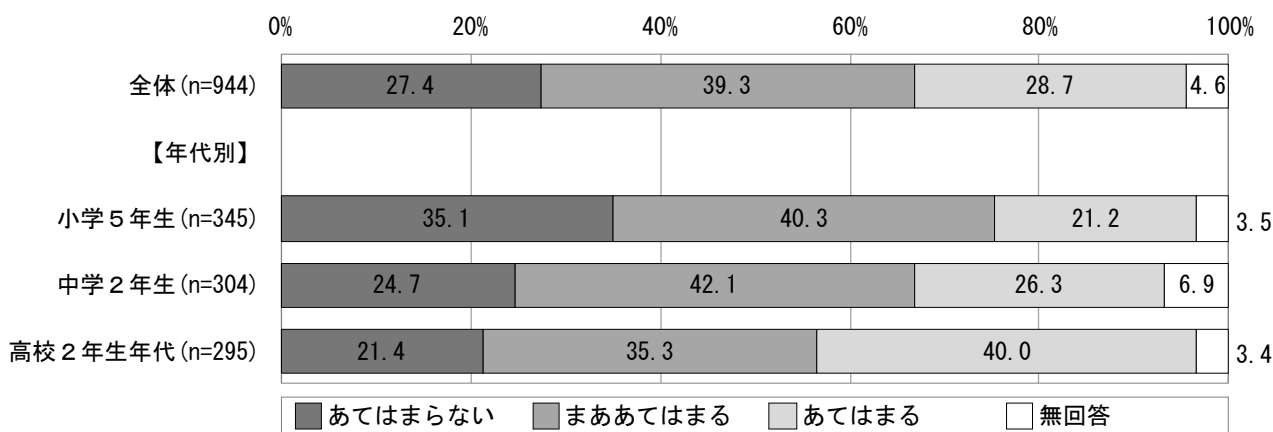
年代別では、年代が下がるほど「あてはまる」の割合が高くなる傾向にある。



⑩私は、新しい場面に直面すると不安になり、自信をなくしやすい。

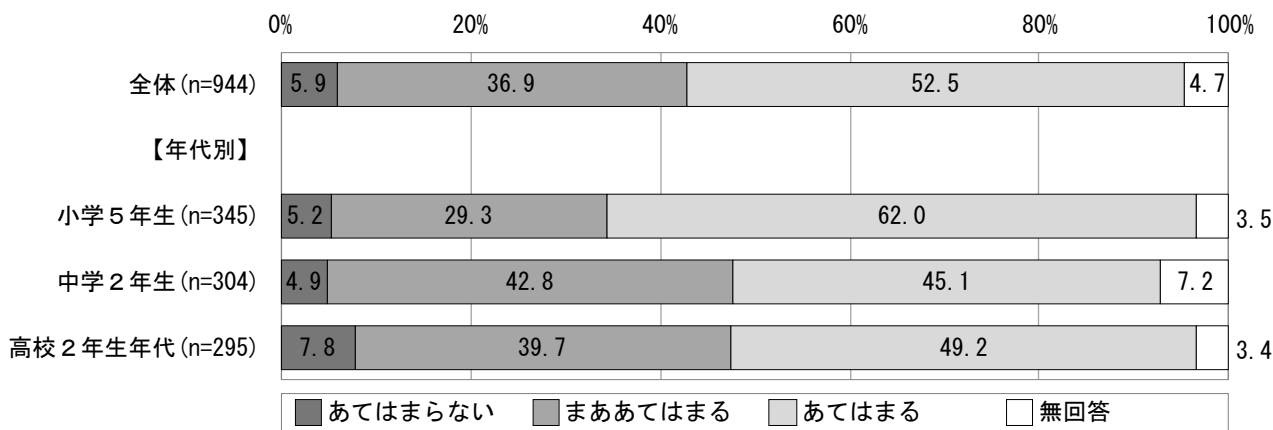
全体では、「まああてはまる」が 39.3%と最も高く、「あてはまる」が 28.7%、「あてはまらない」が 27.4%と続いている。

年代別では、年代が上がるほど「あてはまる」の割合が高くなる傾向にある。



⑪私は、年下の人たちに対してやさしくしている。

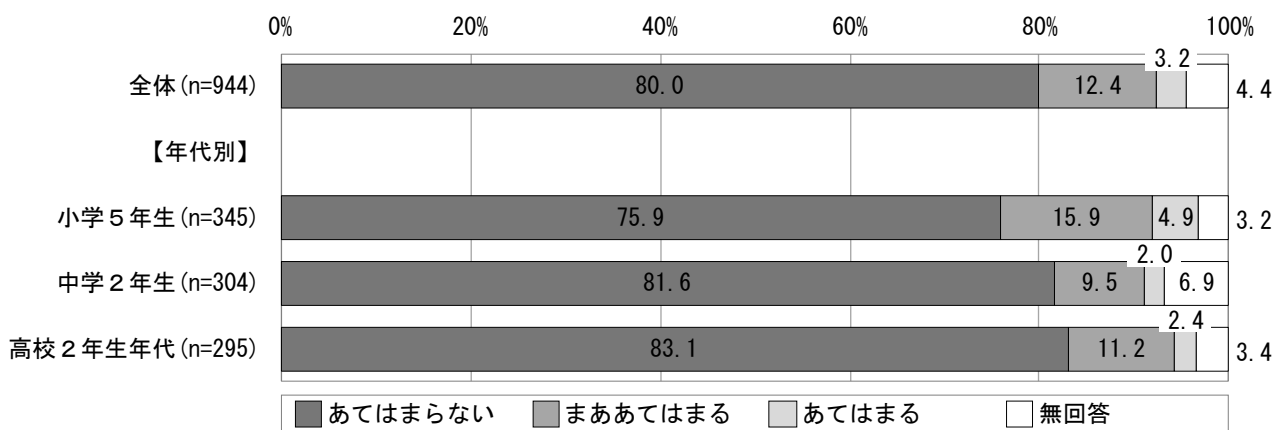
全体では、「あてはまる」が 52.5%と最も高く、「まああてはまる」が 36.9%、「あてはまらない」が 5.9%と続いている。



⑫私は、他の人から、いじめられたり、からかわれたりする。

全体では、「あてはまらない」が 80.0%と最も高く、「まああてはまる」が 12.4%、「あてはまる」が 3.2%と続いている。

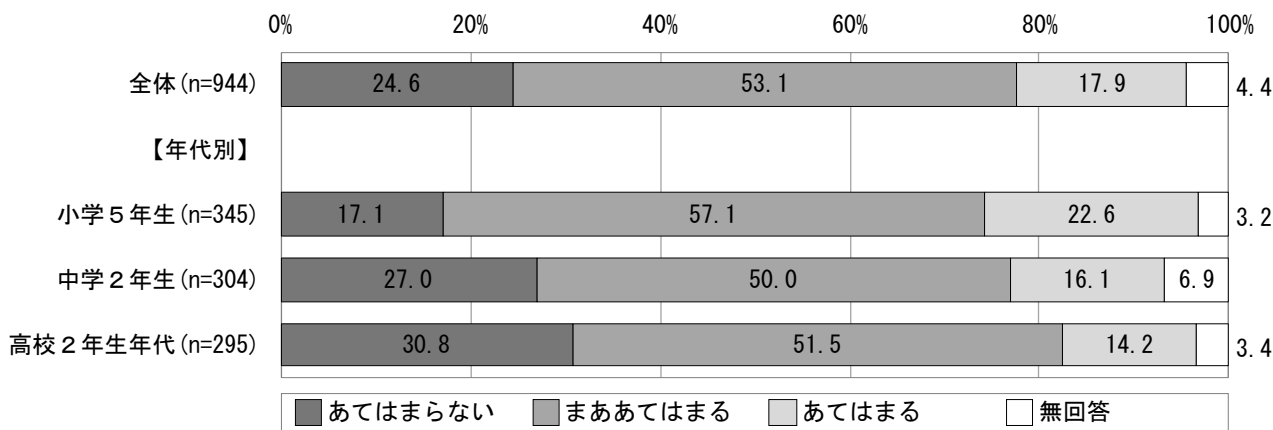
年代別では、年代が上がるほど「あてはまらない」の割合が高くなる傾向にある。



⑬私は、自分からすすんでよくお手伝いをする（親・先生・他の人たちなど）。

全体では、「まああてはまる」が 53.1%と最も高く、「あてはまらない」が 24.6%、「あてはまる」が 17.9%と続いている。

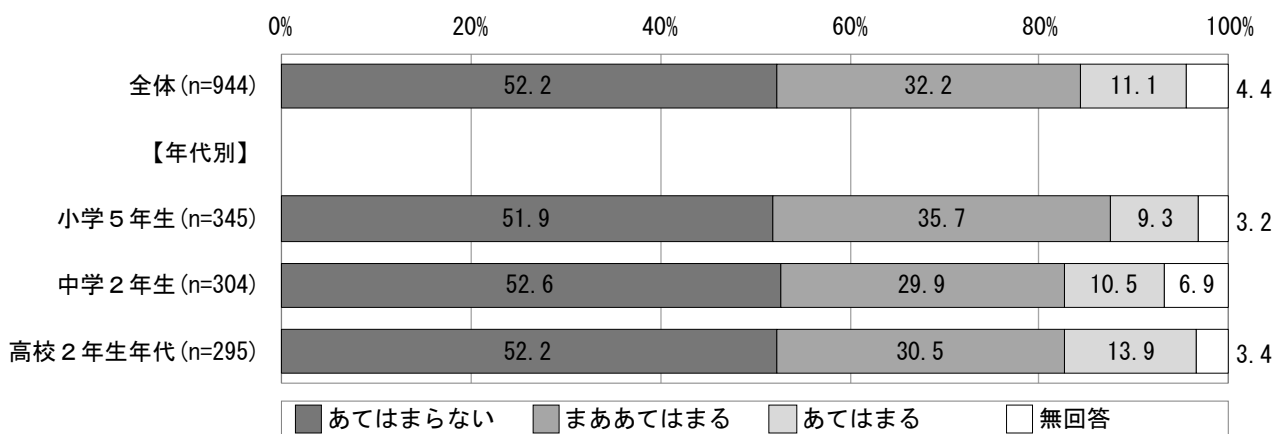
年代別では、年代が上がるほど「あてはまらない」の割合が高くなる傾向にある。



⑭私は、他の同じくらいの年齢の人たちより、大人という方がうまくいく。

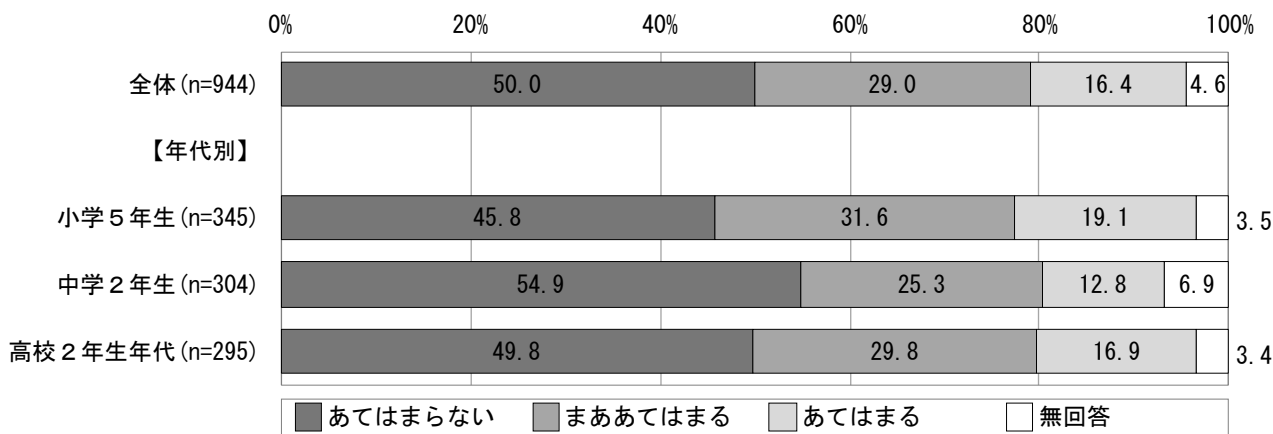
全体では、「あてはまらない」が 52.2%と最も高く、「まああてはまる」が 32.2%、「あてはまる」が 11.1%と続いている。

年代別では、年代が上がるほど「あてはまる」の割合が高くなる傾向にある。



⑮私は、こわがりで、すぐにおびえたりする。

全体では、「あてはまらない」が 50.0%と最も高く、「まああてはまる」が 29.0%、「あてはまる」が 16.4%と続いている。

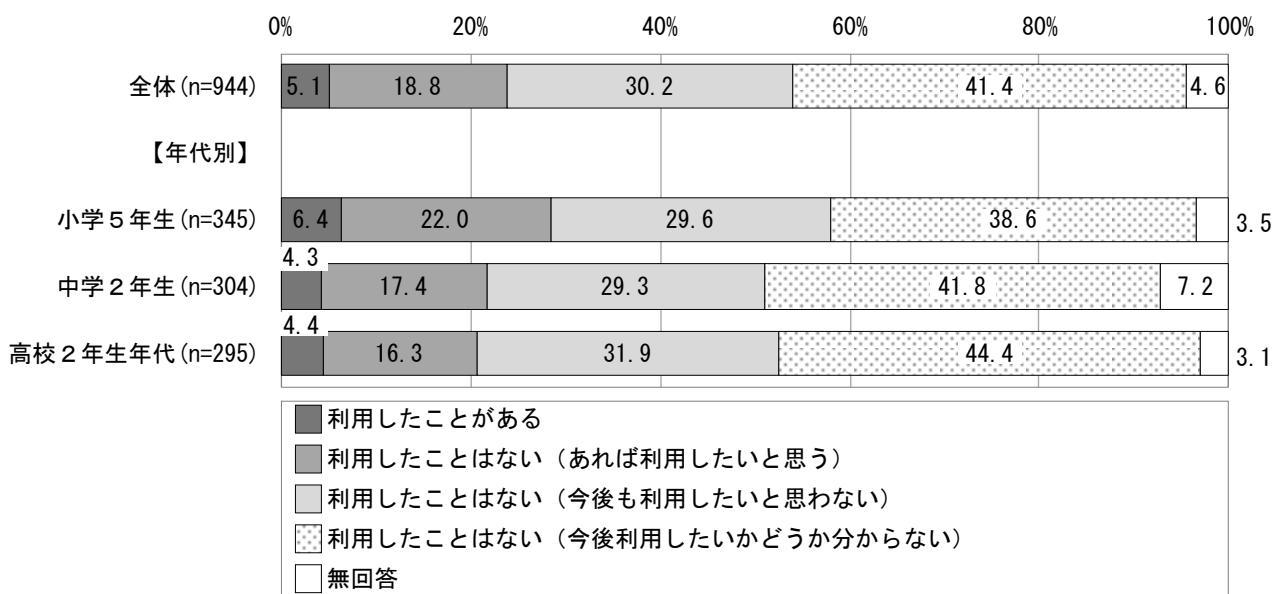


(9) あなたは、次の①～③のような場所を利用したことがありますか。

また、利用したことはない場合、今後利用したいと思いますか。(それぞれ1つ)

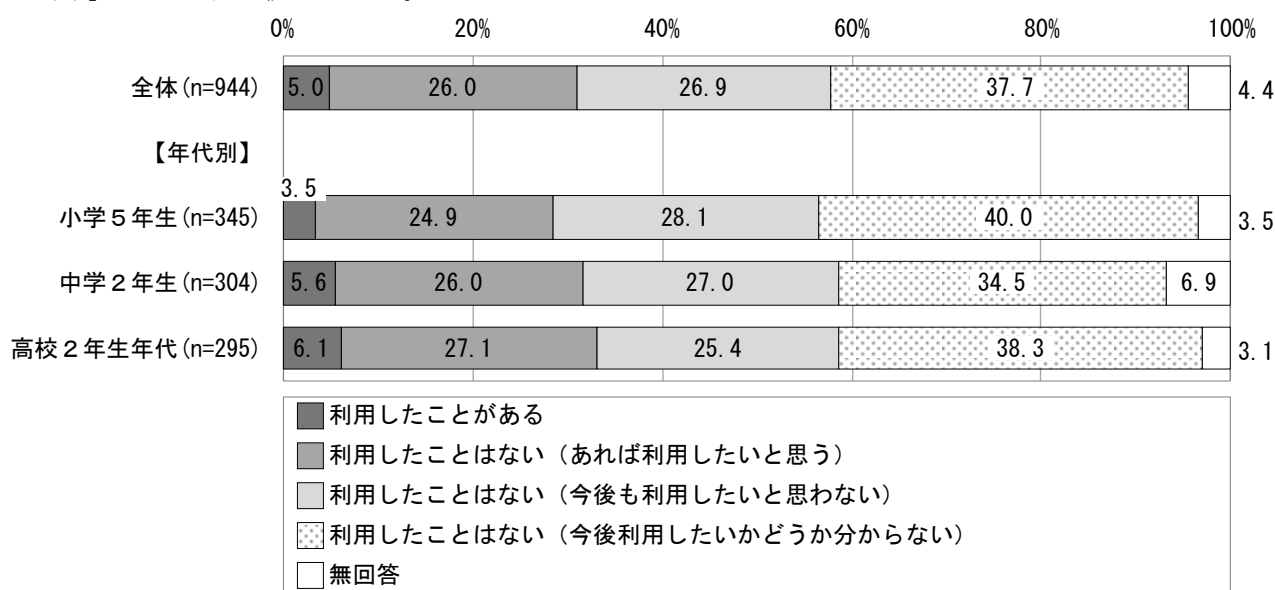
① (自分や友人の家以外で) タごはんを無料か安く食べることができる場所 (子ども食堂など) についての利用状況、利用希望

全体では、「利用したことはない (今後利用したいかどうか分からない)」が 41.4%と最も高く、「利用したことはない (今後も利用したいと思わない)」が 30.2%、「利用したことはない (あれば利用したいと思う)」が 18.8%と続いている。



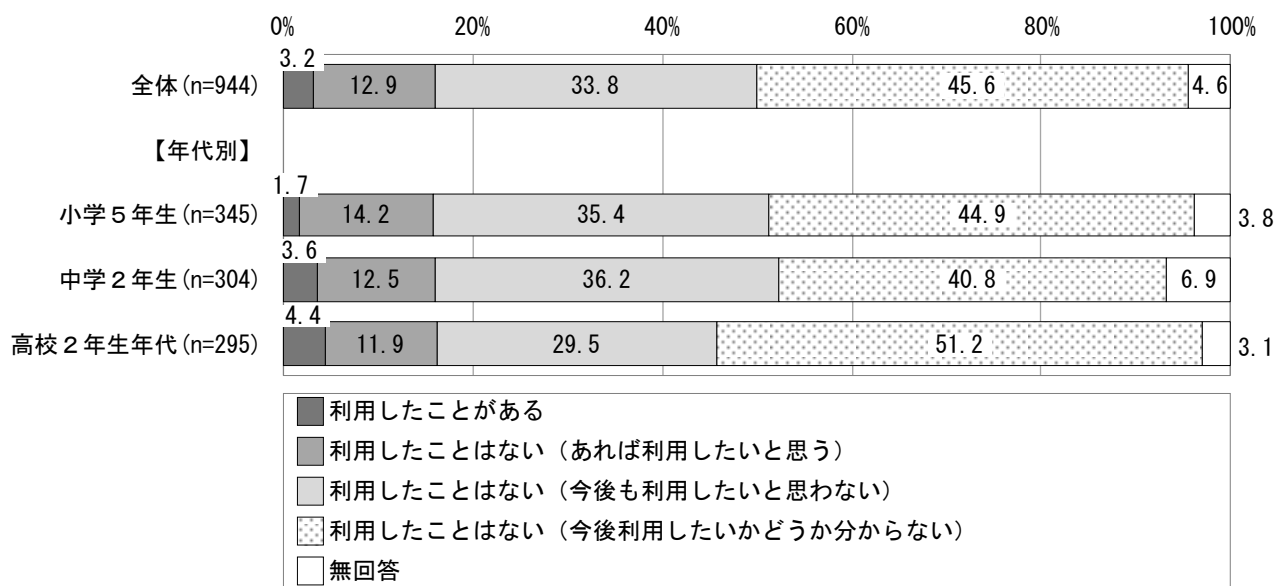
### ②勉強を無料でみてくれる場所についての利用状況、利用希望

全体では、「利用したことはない（今後利用したいかどうか分からない）」が37.7%と最も高く、「利用したことはない（今後も利用したいと思わない）」が26.9%、「利用したことはない（あれば利用したいと思う）」が26.0%と続いている。



### ③（家や学校以外で）何でも相談できる場所（電話やネットの相談を含む。）についての利用状況、利用希望

全体では、「利用したことはない（今後利用したいかどうか分からない）」が45.6%と最も高く、「利用したことはない（今後も利用したいと思わない）」が33.8%、「利用したことはない（あれば利用したいと思う）」が12.9%と続いている。

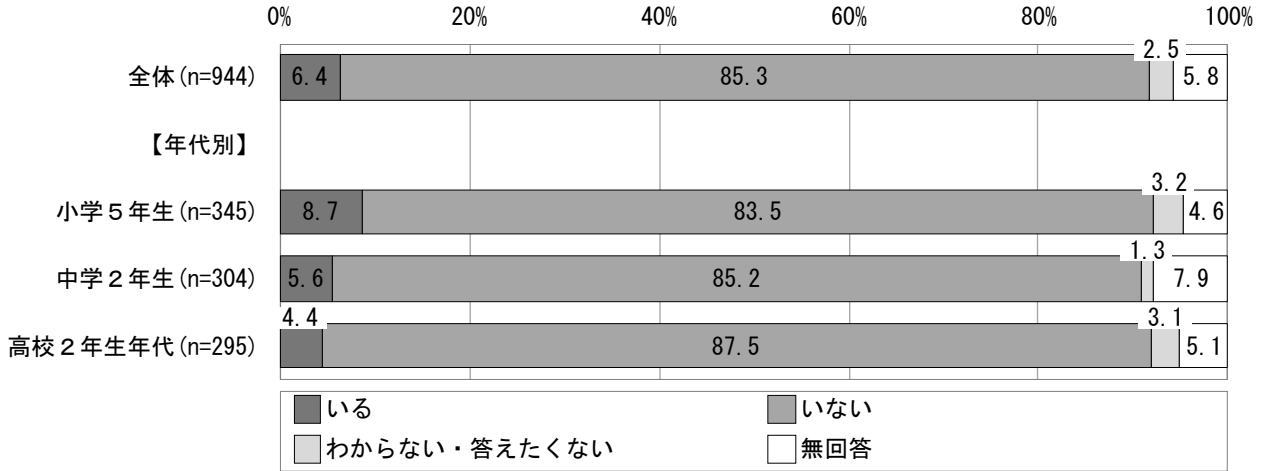




(10) 家族の中にあなたがお世話をしている人はいますか。

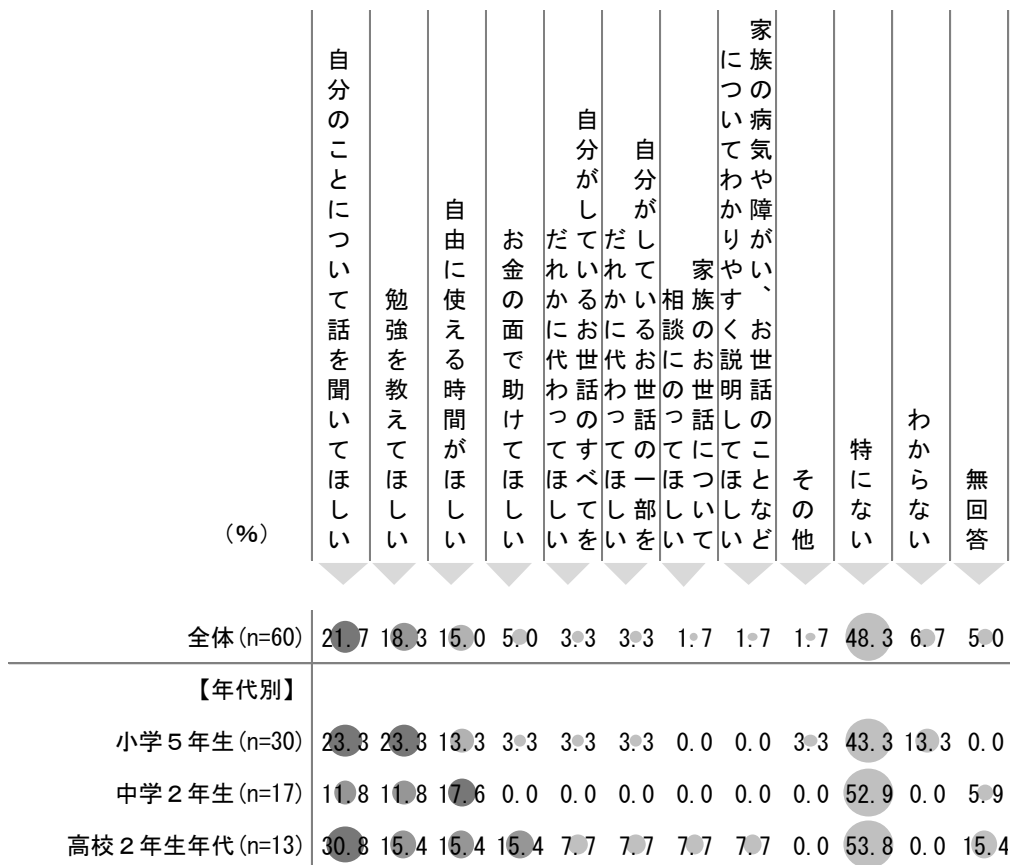
全体では、「いない」が 85.3%と最も高く、「いる」が 6.4%、「わからない・答えたくない」が 2.5%と続いている。

年代別では、年代が上がるほど「いない」の割合が高くなる傾向にある。



(11) 学校の先生やまわりの大人に助けてほしいこと、あったらいいなと思う支援はありますか。  
(いくつでも) ※ (10) で「いる」と回答した方に質問

全体では、「自分のことについて話を聞いてほしい」が 21.7%と最も高く、「勉強を教えてほしい」が 18.3%、「自由に使える時間がほしい」が 15.0%と続いている。



## 子どもの年代別分析についてのまとめ

それぞれの設問について、傾向が顕著にみられたものを次のようにまとめた。子どもの成長過程で、それぞれの課題が変化していくことがわかる。

### ■年代が上がるほど、割合が高くなるもの

(2) あなたは、ふだん、1日あたりどれくらいの時間勉強をしますか。

上記設問の「まったくしない」は、年代が上がるほど割合が高くなる。

(8) 以下のそれぞれの質問について、「あてはまらない」「まああてはまる」「あてはまる」のどれかから回答してください。

- ①私は、他の人に対して親切にするようにしている。私は、他の人の気持ちをよく考える。
- ②私は、よく頭やお腹がいたくなったり、気持ちが悪くなったりする。
- ④私は、たいてい一人である。だいたいいつも一人で遊ぶか、人と付き合うことを避ける。
- ⑩私は、新しい場面に直面すると不安になり、自信をなくしやすい。
- ⑭私は、他の同じくらいの年齢の人たちより、大人という方がうまくいく。

上記設問の「あてはまる」は、年代が上がるほど割合が高くなる。

### ■年代が下がるほど、割合が高くなるもの

(5) あなたは週にどのくらい、食事をしていますか。

上記設問の「毎日食べる(週7日)」は、年代が下がるほど割合が高くなる。

(7) 全体として、あなたは最近の生活に、どのくらい満足していますか。

上記設問の満足度の平均点は、年代が下がるほど点数が高くなる。

(8) 以下のそれぞれの質問について、「あてはまらない」「まああてはまる」「あてはまる」のどれかから回答してください。

- ⑨私は、同じくらいの年齢の人からは、だいたい好かれている。
- ⑪私は、年下の人たちに対してやさしくしている。
- ⑬私は、自分からすすんでよくお手伝いをする(親・先生・他の人たちなど)。

上記設問の「あてはまる」は、年代が下がるほど割合が高くなる。

(10) 家族の中にあなたがお世話をしている人はいますか。

上記設問の「いる」は、年代が下がるほど割合が高くなる。

## 2. まとめ

今回実施した子どもの生活状況調査の結果から、小学生、中学生、高校生年代やその家庭における生活の主な現状とともに、対応する主な課題を整理した。

### (1) 学習について

#### ア 主な現状

ふだんの学校の授業以外での勉強方法について、等価世帯収入が少ない家庭のこどもほど「家の人に教えてもらう」や「塾で勉強する」との回答率が低くなっている。〈小学生・中学生調査、高校生調査〉

学校の授業について、等価世帯収入が“中央値（約 390 万円）未満”の家庭のこどもでは、「いつもわかる」と「だいたいわかる」を合わせた回答率が小学生・中学生 47.7%、高校生 36.6%と、“中央値以上”の家庭のこども（小学生・中学生 67.9%、高校生 50.9%）に比べて低くなっている。〈小学生・中学生調査、高校生調査〉

授業がわからないことがあるようになったのは、「中学 1 年生のころ」が 24.9%と最も高く、「小学 4 年生のころ」が 22.4%、「小学 5 年生のころ」が 20.6%と続いている。〈小学生・中学生調査〉

将来、大学（短大や大学院を含む）への進学を希望している割合について、等価世帯収入が“中央値の 2 分の 1（約 195 万円）未満”の家庭のこどもでは 44.0%と、“中央値の 2 分の 1 以上”の家庭のこども（86.1%）に比べて低くなっている。〈高校生調査〉

あったらいいと思う支援について、ひとり親世帯では「学校にかかるお金の支援」との回答率が 64.6%、「高校や大学・専門学校への進学についてお金のことを含めて相談できるところ」が 66.2%と、ふたり親世帯（各 56.5%、43.4%）に比べて高くなっている。〈保護者調査〉

#### イ 主な課題

学習に課題を抱えるこどもへの学習支援や進路相談の充実が必要と考えられる。

### (2) 生活習慣について

#### ア 主な現状

朝食について、等価世帯収入が“中央値の 2 分の 1 未満”の家庭のこどもでは、「毎日食べる（週 7 日）」との回答率が小学生・中学生 80.4%、高校生 56.0%と、“中央値の 2 分の 1 以上”の家庭のこども（小学生・中学生 88.7%、高校生 83.2%）に比べて低くなっている。〈小学生・中学生調査、高校生調査〉

#### イ 主な課題

全てのこどもの健やかな育ちのため、基本的な生活習慣の形成・定着への支援が必要と考えられる。

### (3) 相談支援について

#### ア 主な現状

困っていることや悩みごとがあるとき、相談できると思う人について、ひとり親世帯のこどもでは「だれにも相談できない、相談したくない」との回答率が 14.3%と、ふたり親世帯のこども（3.8%）に比べて高くなっている。〈小学生・中学生調査〉

他の子どもから、いじめられたり、からかわれたりすることについて、等価世帯収入が少ない家庭の子どもほど「あてはまる」と「まああてはまる」を合わせた回答率が高くなっている。〈小学生・中学生調査〉

ヤングケアラーの該当者に、学校の先生やまわりの大人に助けてほしいこと、あったらいいなと思う支援を聞いたところ、「自分のことについて話を聞いてほしい」と「勉強を教えてほしい」が、それぞれ 19.1%と最も高く、「自由に使える時間がほしい」が 14.9%と続いている。〈小学生・中学生調査〉

子育てに関する相談について頼れる人の有無について、ひとり親世帯では「いない」という回答率が 18.5%と、ふたり親世帯（8.3%）に比べて高くなっている。〈保護者調査〉

#### イ 主な課題

ヤングケアラーに関することを含め、様々な悩みごと等に対応する相談支援の充実とともに、いじめ防止対策推進法に基づく未然防止・早期発見・早期対応の取組の推進が必要と考える。

### (4) 体験活動について

#### ア 主な現状

あったらいいと思う支援について、ヤングケアラーに該当する小学生・中学生では、「ふだんは経験できないようなイベントやスポーツ、遊びなどを、無料で体験できる」との回答率が 40.4%と、ヤングケアラーに該当しない小学生・中学生（29.8%）に比べて高くなっている。また、“中央値の2分の1未満”の家庭の高校生では、同回答率が 32.0%と、“中央値の2分の1以上”の家庭の高校生（14.4%）に比べて高くなっている。〈小学生・中学生調査、高校生調査〉

#### イ 主な課題

地域や成育環境によって活動機会に格差が生じないような、様々な学びや多様な体験活動・外遊びの機会の提供が必要と考える。

### (5) 経済面について

#### ア 主な現状

いざという時のお金の援助について頼れる人の有無について、ひとり親世帯の保護者では「いない」という回答率が 43.1%と、ふたり親世帯（18.7%）に比べて高くなっている。〈保護者調査〉

過去1年の間に、経済的な理由で未払いになったことについて、等価世帯収入が“中央値の2分の1未満”の家庭では「電気料金」が 8.3%、「ガス料金」が 3.6%、「水道料金」が 4.8%となっている。〈保護者調査〉

#### イ 主な課題

様々な支援を組み合わせることで経済的支援の効果を高めるとともに、必要な世帯に対する支援の利用促進が必要と考える。